

有料老人ホーム・高齢者住宅

選びに強くなる!

第1回
全6回シリーズ

「変わる介護事情」

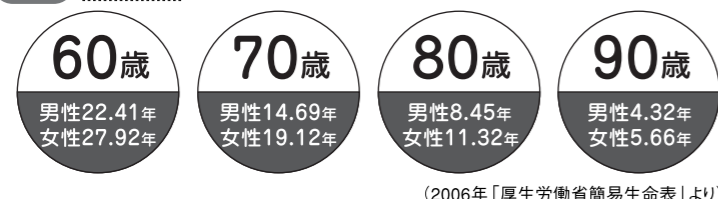
1 長生きすればするほど長生きする?

皆さんは「平均余命」という言葉をご存じですか? 平均余命とは、ある年齢に達した時に、そこからあと何年生きるかの平均値。表2をご覧ください。60歳の時点で男性約22年、女性約28年、70歳なら男女ともだいたい15~20年の日々があるということです。長生きをすればするほど、そこからさらに長生きしたいもの。だからこそ、将来の生活スタイルについてきちんと考える必要があるのです。

表1 平均寿命推移

1950年 男性58.0歳 女性61.5歳	→	2006年 男性79.0歳 女性85.8歳 <small>(厚生労働省資料より)</small>
--------------------------	---	--

表2 平均余命



まだ早い。そのうちなんとかなるだろう…。

そんなふうに、将来の暮らし方について考えることを後回しにしている方へ。

まずは、充実したシニアライフの選択肢としての有料老人ホーム・高齢者住宅について学んでみませんか。

国内外300か所以上の有料老人ホームを取材してきた山中由美さんが、6回にわたりアドバイス。

第1回は、有料老人ホーム・高齢者住宅について早めに考えはじめる必要性についてのお話です。



やまなか ゆみ
講師: 山中由美さん

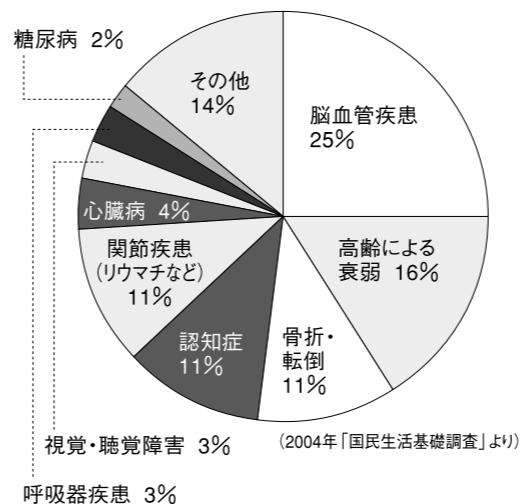
株式会社Pro・visionチーフコンサルタント。シニア生活情報誌「もも百歳」の編集に携わり国内外の老人ホーム300か所以上を取材。福祉住環境コーディネーター、ファイナンシャルプランナー、NPO京都府認知症グループホーム協議会監事ほか。

2 元気な方でも介護の必要は迫ってる?

自分はまだ元気だから当分は大丈夫…と思っている方も多はず。06年の統計では、前期高齢者(65~74歳)の全人口中、要介護認定を受けている人は4.7%。ところがこれを後期高齢者(75歳以上)で見ると、29.5%と6倍強に跳ね上がります。

要介護の原因疾患の割合が表3。4分の1を占める脳血管疾患(脳卒中や脳梗塞など)は、ある日突然起こる病気です。交通事故と同じで、自分だけは大丈夫…とは誰も言えないのです。

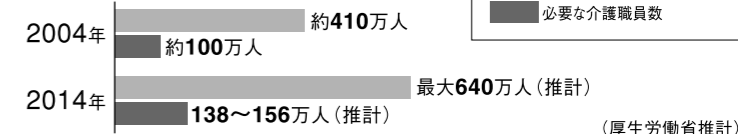
表3 要介護になった原因疾患



3 少子高齢化があなたに与える影響は?

長生きするともっと長生きする、加齢と共に要介護になる事への備えの必要性は高まります。つまり、介護を必要とする高齢者は今後さらに増えていくことが予想されます。一方で、介護職員数が急激に増えることはないでしょう。この需要と供給の差は、今後さらに開いていくと予想されます(表4)。従って、先延ばしにせず、いざという時のために、自分が希望する介護サービスを今のうちから考えておきましょう。

表4 介護サービスの需要の変動



今回のまとめ

元気なうちから学んでおこう。

有料老人ホーム・高齢者住宅選びは、元気なうちからはじめましょう。いろいろな施設を見比べて、どんな選択肢があるのかを学び、自分はどんなサービスが受けたいのかを考え、普段からご家族と話し合っておくことが大切です。